

患者さまへ

「2023～2024 年の COVID-19 患者における血液培養の陽性率に関する研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023 年 1 月～2024 年 6 月に当院救急外来を受診した患者さまのうち、COVID-19 の確定診断がなされ、初診時に血液培養を採取された患者さま
2 研究目的・方法	COVID-19 による致死率が低下して以降、COVID-19 患者さまで COVID-19 以外の細菌感染症を合併する方が増加しています。 救急外来の初診時点では細菌感染の疑いのある患者さまに対して経験的に抗菌薬投与が開始される傾向にあり、抗菌薬を投与する場合には投与前に血液培養(追加で血液の細菌感染の有無を調べる検査)を行うことが大半です。 しかしながら、オミクロン株 XBB.1.5 系統以降の COVID-19 確定患者さまへ血液培養を行う診断的意義があるかどうかは現時点では明らかになっていません。 本研究では、COVID-19 の診断が確定している方に、血液培養を行うことにどの程度の意義があるのかを検討します。 研究の期間:施設院長許可(2024 年 8 月予定)後～2025 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢・性別・病歴・バイタルサイン・血液検査結果・血液培養の結果 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 金井 祐樹 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024 年 7 月 19 日作成(第 1.0 版)